

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公開番号】特開 2000-276493 (P2000-276493A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 6 日 (2000.10.6)
 【出願番号】特願 2000-20139 (P2000-20139)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 4 1 9 B

G 0 6 F 12/00 5 0 5

G 0 6 F 12/00 5 4 7 H

G 0 6 F 17/30 1 7 0 G

G 0 6 F 17/30 3 1 0 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 29 日 (2007.1.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

電子的にアクセス可能なリソースを、該リソースの記述を用いてブラウジングする方法であって、

前記記述はディスクリプタ・コンポーネントを有し、前記ディスクリプタ・コンポーネントが、該リソースへの少なくとも 2 つのアクセス軸を表す属性を持っていて、さらに、前記記述が、対応する前記リソースへのリンクを有する前記方法において、

前記記述を読み込むステップと、

複数の項目を表示する表示ステップと、

表示された前記項目を用いて、前記記述と、前記リンクを介してその記述に対応する、電子的にアクセス可能なリソースと、をブラウジングするステップと、

を有し、

前記複数の項目のそれぞれは、

読み込まれた前記記述に対応する前記ディスクリプタ・コンポーネントであって、少なくとも 1 つの前記属性を持つ前記ディスクリプタ・コンポーネントに関連することを特徴とする方法。

【請求項 2】

読み込まれた前記記述のそれぞれは、ディスクリプタ・コンポーネント・ツリーによって表され、1 つまたはそれ以上の前記ディスクリプタ・コンポーネントが、子孫としてディスクリプタ・コンポーネントを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記アクセス軸の中の 1 つが目次類別であることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記アクセス軸の中の 1 つが索引類別であることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

テンプレートとして記述スキームを用いて前記記述が生成され、前記記述のディスクリ

プタ・コンポーネントの定義を含む宣言型記述定義言語を該記述スキームが利用することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が前記記述スキームで定義されることを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が前記記述スキームの永続的項目であることを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 8】

前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が、必要なときにアプリケーションによってインスタンス化されることを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 9】

前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が前記記述スキームと関連する規則を用いてインスタンス化されることを特徴とする請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

前記リソースがデジタル・コンテンツの項目であることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 11】

前記リソースがワールド・ワイド・ウェブを介して入手可能な電子文書またはリソースであることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 12】

前記リソースが電子装置であることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 13】

前記記述が、リソースの特定されたセクションとつながるリンクを含むことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 14】

前記アクセス軸が、前記記述に対して作用する規則によって決定されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 15】

前記アクセス軸が前記記述の生成中に決定されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 16】

前記少なくとも 2 つのアクセス軸を表す前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が記述のコンテンツから推量されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 17】

前記ディスクリプタ・コンポーネントが前記リソースまたはリソースのセクションへの参照を含む場合、前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が目次ディスクリプタであると推量されることを特徴とする請求項 16 記載の方法。

【請求項 18】

前記ディスクリプタ・コンポーネントが目次ディスクリプタであると推量されない場合、前記ディスクリプタ・コンポーネントの前記属性が索引ディスクリプタであると推量されることを特徴とする請求項 17 記載の方法。